

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年10月27日更新

事務事業名		合志市内保育士等研修事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	こども部	課長名	小畑 英之
	施策	5	こども・子育て支援の充実		所属課	こども未来課	担当者名	吉山 和宏
	業務分野	18	子育てと仕事の両立支援		所属班	保育班	(内線)	1621
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	児童福祉法、子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金交 合志市健康福祉補助金等交付要綱
		一般	3	2	3	11448		
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 市内認可、認可外保育施設、幼稚園等の保育士等を対象に実施する研修会開催費用の助成を行う。 保育士に対する研修については、国は各自治体での保育士等研修を推進しているところである。 安心子ども基金で保育士等研修に該当する事業があり、平成20年度から3か年のみの事業であったが、平成23年度以降も事業継続となり、平成27年度からは国庫補助事業となった。 認可保育施設、地域型保育施設、認定こども園はもとより認可外保育施設及び幼稚園等へのニーズは高く、保育士等の質の向上は必要である。
【業務の流れ】	①補助金交付申請の受付、審査②交付決定伺い③交付決定通知書④実績報告書(添付:事業実績調書)⑤補助金交付請求書⑥補助金支払(支出負担行為、支出命令書等)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

市内の保育施設(認可、地域型、認可外、認定こども園)、幼稚園の保育士等を対象とした研修会開催費用の助成を行った。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

前年度と同様に市内の保育施設(認可、地域型、認可外、認定こども園)、幼稚園の保育士等を対象とした研修会開催費用の助成を行う。

③予算の主な増減の理由

保育所等運営事業(10580)へ統合することに伴う事業費の減

成果指標

ア 研修会参加率(研修会に参加した保育士等数/市内保育士等数)

(単位)

データ取得方法

→イウ

%

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	目標(当初予算)	予定	見込	見込
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)				
ア	%	53.1	23.4	60	50.8				
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円	100	100	100	100			
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円	100	100	100	100				
(A) 事業費計	千円	200	200	200	200				

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

(成果向上の余地)

施設長に働きかけ、多くの保育士が参加できる体制を整える必要がある。

(事業費削減の余地)

国庫補助を活用した最低限の研修であり、削減余地はない。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)